



平成29年 3月12日  
 下越美術教育研究会  
 事務局  
 巻北小学校  
<http://business3.plala.or.jp/kabiken/>  
 印刷 文久堂



## 図工・美術は「個育て」だ

下越美術教育研究会会長 古田 修  
 (五泉市立川東中学校)

ある小学校で行っている、ちょっと変わった作品展の話聞いたことがありました。「作品に名札がない」作品展です。来場した保護者は、どれが自分の子どもの作品だろうと特徴を見つけてようと一つ一つの作品をよく鑑賞することにになります。見つけれなくて間違えても、子どもたちはすぐには答えを教えません。子どもはヒントを出し、保護者はそれに答えながら、対話の生まれる作品展です。きつと一人一人の作品が個性あふれるものなのだろうと考えます。

「物語の絵」があります。物語の内容を想像するとき、一人一人の考える色や形が違うだろうし、感動する場面も違っているだろうし、想い描く景色が同じわけがないと思います。しかし、私たちが授業を行うとき、「私の言うとおりに描くと上手にできますよ」と言わなければ、組立設計図を渡してないだろうか。ときどき、みんなおんなじ絵に見える作品展に出会い残念に思うことがあります。子どもたちの想いや楽しみ、先生や友達との対話か

ら生まれたような「私の描きたいものはこれよ」と聞こえてきそうな作品になる指導力をもちたいものです。

下越美術教育研究会の夏季実技研修では、研修部の熱意で、東京芸術大学名誉教授、大阪芸術大学教授の絹谷幸二先生を招くことができ、実技指導をしていただきました。個性が表れにくかったり、いわゆる上手にこだわる指導であったりすることを危惧し、表現の豊かさが広がる指導の提案で大変新鮮に思われました。そして、十三回目を迎えた下越美術教育研究会と新潟市新津美術館が共催する「新潟教育アート展」でも、個性溢れ、子どもたちの作品の声聞こえる展覧会にするため、「子どもたちが、楽しみながら、先生や友達と対話したり、鑑賞したりしながら創りだし、その声聞こえてきそうな作品」を審査の条件にしています。

図工・美術にかかわる教師が、下越美術教育研究会の活動を通して、指導力が向上し、子どもの豊かな個性を育てることに繋がれば幸いです。



## 第十三回新潟教育アート展 ご協力ありがとうございました

下越美術教育研究会事業部長 田代 豪  
 (新潟大学教育学部附属新潟中学校)

一月四日から十四日に、新津美術館の二階展示室を会場に、第十三回新潟教育アート展を開催しました。展覧会会期中は、およそ四千五百人の来場があり、おかげさまで盛況のうち終えることができました。

また、第十三回展では、およそ二百八十校園より出品をいただき、昨年度に続き二万点を超える作品の応募をいただきました。アート展への作品応募が定着しつつある証だと思います。これも各校園で広報していただいたお陰と、この場を借りて感謝申し上げます。

さて、私事で恐縮ですが、この数年アート展の仕事に携わる中であらためて、子どもの絵を見ることを学び直すことができました。審査員の先生はもろろん、アート展にかかわる先生方から実に多くを学ぶことができました。その代表が、次のようなことです。

「子どもは、子どもの理由で絵を描いている。大人の『見方』を問い直さなければならぬ。」

『作品から子どもたちの声を聞く』それは絵を描いた子どもになること。その子に身を重ねるということ。」

アート展の仕事に携わること、ようやくその具体を実感することができ

るようになってきました。ですが、まだまだ子どもたちの作品を十分に「見る」ことはできていません。

もしかしたら、このアート展は私のような教員が、子どもの作品を「見る」貴重な研修の場になっているのではないかと思います。今後もアート展を軸として、子どもの作品を「見る」研修を積んでいけるように、皆様と共に学んでいければと思います。

そして、今年度も会員の先生方の積極的な取組に加え、アルバイトの学生、シルバー人材センターの皆様の力をいただきました。これまでの経験を生かして、以前よりも作業の効率、正確さに向上が見られました。今後も、より内容の充実した展覧会を目指し、運営して参りたいと思っております。

次回第十四回展でも、より多くの方々より企画の段階からご尽力をいただければと考えております。そして、さらによりよい展覧会にできればと思っています。下越の図工・美術の先生方のお力を結集し、地域の造形教育に貢献できるよう、本展覧会を發展させてまいります。今後ともご協力をお願い申し上げます。

### 審査員一覧

#### ◆平面作品部門

【幼・保育園・特別支援】  
鳴門教育大学

山田 芳明

#### 【小学1年生】

東京学芸大学

横内 克之

#### 【小学2年生】

北海道教育大学

阿部 宏行

#### 【小学3年生】

東京学芸大学

相田 隆司

#### 【小学4年生】

群馬大学

齋江 貴志

#### 【小学5年生】

新潟大学

橋本 学

#### 【小学6年生】

上越教育大学

松本 健義

#### 【中・高等学校】

#### ◆写真・CG・活動部門

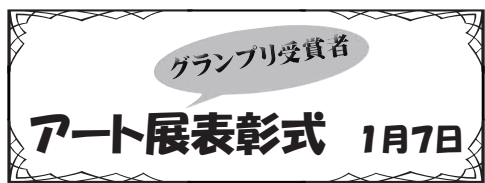
岡山大学

大橋 功

## 第13回 新潟教育アート展

○会期 平成29年 1月4日～1月14日

○会場 新潟市新津美術館 2階展示室



年明け間もない平成二十九年一月七日に、第十三回新潟教育アート展の表彰式が、新津美術館において挙行されました。本年度も二万点を超える作品が集まり、選出された作品はどれも子どものもっているエネルギーが感じられるものでした。表彰式は美術館のアトリウムで行われ、多くの来館者からも祝ってもらえる温かな雰囲気を感じられました。新潟市にある施設を活かした特色ある演出です。そのような晴れがましい場で表彰を受ける子どもたちの表情は、うれしさに満ちあふれていました。

作品展を開催するまでに、会員の先生方の綿密な計画が基になり、作品展示に協力して下さったアルバイトの学生・シルバー人材センターの皆様、大量の作品を丁寧に審査して下さいました審査員の皆様、そして、会場となった新津美術館の皆様といたたくさんの人々の力で運営されています。この素晴らしい環境を整えて下さった関係者の皆様に、心より感謝いたします。これからも、新潟教育アート展が、つくりだす喜びを味わい、創造力を育て、豊かな情操を養うなどの人としての生き方を培う「造形を通じた教育」に対応する美術展として発展していくことを祈念しています。



### アート展を終えて

下越美術教育研究会副会長 根岸 恵美  
(新潟市立沼垂幼稚園)



**アート展の舞台裏**  
会員による手づくり感満載

出品数 **21,205** 点



下越美術教育研究会の大きな事業の一つであります「第十三回新潟教育アート展」の終了をもちまして、ほぼ本年度の事業等を無事終えることができました。

下越美術教育研究会の主たる目的は、新潟県下越地区の美術教育の振興を図ることです。私個人的には、その目的の実現に向けて着々と歩みを進めているものと感じています。

下越美術教育研究会の事業等につきましては、内容が年々充実し、会員のみならず、県内の図画工作・美術教育に携わっている多くの先生方から参加していただき、好評を得ているものと

思います。

本年度も、新たに数名の方から幹事に加わっていただきました。組織も少しずつ若返りを図っています。さらに高等学校や特別支援学校の先生方の加入を一層促進していく必要性を感じます。

平成三十一年度には、第三十二回新潟県美術教育研究大会・下越大会が予定されています。本研究大会を成功させるためには、平成二十九年度からの取組が必要になると考えます。組織を盤石なものにし、確実な計画の下、準備を進めていかなければなりません。会員の皆様のご理解と、なお一層のご協力をお願いいたします。



### 組織、事業等のさらなる充実を

下越美術教育研究会副会長 永井高志  
(新潟市立越前小学校)

# 会員の声

## 新潟教育アート展 舞台裏を経験して：



細野 ゆか  
(新潟市立東特別支援学校)

新潟教育アート展の展覧会準備に数年ぶりに参加しました。これまでの経験や反省を生かした細かな計画や事前準備で、作業分担や手順が明確でも効果的に行われていました。返却作業では学校名や番号を確認しながら丁寧に作業していても、小さなミスが重なり、なかなか作品数が合わないことがありました。しかし、全ての学校の作品を数え直したり番号や名前を確認したりと、作品を確実に児童生徒に戻すために、最後まであきらめずに取り組む姿に感動を覚えました。

新潟教育アート展は、温かい雰囲気  
の展覧会だと思います。それは、下越  
美研会員の方々や新潟大学の学生、美  
術館やシルバーの方などたくさんの人  
が、素晴らしい展覧会にしようと協力  
して運営しているからこそだと思います。  
展覧会を見に来て、様々な年齢の児  
童生徒の作品を見る面白さもあります  
が、展覧会をつくる側(裏方)の仕事  
に関わることで、新たな発見や面白さ

を感じることができました。良い経験  
ができたと思います。ありがとうございます。  
いました。

## たくさんの方の 努力と協力



山田しおり  
(新潟市立新潟小学校)

私は、下越美術教育研究会員として  
様々な絵画展の審査会に参加し、たく  
さんの人の努力と協力により成り立っ  
ていることを実感しました。

まずは、何よりも自分の思いを生か  
して一生懸命に絵を描いた子どもたち  
そしてそれを指導・支援してください  
た先生方。丁寧に描かれた絵がたくさ  
ん集まるからこそ、よい絵画展になる  
のだなと思います。また、一枚一枚に  
正しく出品表が貼られていたおかげで、  
スムーズに審査することができました。  
また、一学年で三千点近い絵の中か  
ら約百五十点の入賞を、素早く的確に  
選ぶ審査員の先生方。そしてその補助  
をしたり、展示作業と撤収・発送作業  
をしたりする私たち会員や学生スタッ  
フ。たくさんのお手でもたちの絵を  
大切に扱い、たくさんのお目で名前や作  
品の向きなどを確認しています。  
たくさんの方の努力と協力で絵画展  
が成り立っているということを中心に、  
来年以降も楽しみにしたいと思います。

# 平成28年度 下越美術事業報告

5月28日(木) 下越美術教育研究会  
理事会・代議員会  
(兼アート展実行委員会)

(新津美術館)

6月17日(金) 県美術教育連盟理事会  
(長岡アトリウム)

(新津美術館)

8月5日(金) 第57回夏季実技研修会  
新潟教育アート展実行委員会

(天寿園)

8月26日(金) 下越美術教育研究会会報  
「夏月号」発行

「夏月号」発行

9月7日(水) 第47回県ジュニア美術展  
運営委員会

(新潟日報メディアアシップ)

10月下旬 第13回新潟教育アート展  
募集要項発送

募集要項発送

11月2日(水) 第76回全国教育美術展  
新潟地区審査会協力(天寿園)

新潟地区審査会協力(天寿園)

11月17日(木) 第56回関東甲信越静地区  
造形教育研究大会神奈川大会  
参加呼びかけ

(横浜市など)

11月19日(土) 第13回新潟教育アート展  
23日(水) 搬入

(新津美術館)

11月28日(月) 第13回新潟教育アート展  
審査

(新津美術館)

11月29日(火) 第47回県ジュニア美術展  
審査協力

(県民会館ギャラリー)

12月28日(水) 第13回新潟教育アート展  
展示作業  
(新津美術館)

1月4日(水) 第13回新潟教育アート展  
14日(土)  
(新津美術館)

1月7日(土) 第13回新潟教育アート展  
表彰式  
(新津美術館)

1月15日(日) 第13回新潟教育アート展  
搬出作業  
(新津美術館)

2月17日(金) 第2回理事会  
新潟教育アート展実行委員会  
第31回下越美術教育研究会を  
語る会  
(ホテルサンルート新潟)

3月中旬 下越美術教育研究会会報  
「春季号」発行

## 編集後記

会報「春季号」をお届けいたします。  
今号は、第十三回新潟教育アート展  
の内容を中心に記事を構成しました。  
アート展の出品点数が年々増加してい  
ることから、他のコンクールとは異な  
る価値が、学校教育現場で支持・評価  
されつつあることを実感しています。  
会員の交流の場となっている舞台裏  
の画像も掲載しました。新たな同志が  
増えることを切に願っております。  
ホームページも、どうぞご覧ください。